

年 組 名前：

問1

宇宙航空研究開発機構が、

飛行士選考の最終試験施設の

大きさと、その施設にある砂の量を

教えてください。

・大きさ

縦：

横：

・砂の量

.....

問2

飛行士募集には、何人が応募し

何人が人工月面での最終試験を受けましたか。

・応募者数： 人 ・最終試験受験者数： 人

問3

次の説明に関連する言葉を、記事の中から選んで、教えてください。

・宇宙航空研究開発機構 →

・月面を覆う細やかな砂 →

・物が積み重なって高くなっている状態 →

・車が通り過ぎたあとに残る車輪の跡 →

・有人月面探査計画 →

飛行士試験 人工月面で

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は21日までに、飛行士選考の最終試験で用いられた相模原キャンパス（相模原市）の宇宙探査実験棟の施設を公開した。レゴリスと呼ばれる月面を覆う細かな砂や起伏豊かな地形を再現した、いわば人工月面だ。縦23メートル横18メートルの施設にはうずたかい砂の丘もある。無数の足跡、探査車のわだちもあつた。照明によって月面を照らす太陽の光も再現できる。砂は約425メートルあり、粒径は細かなもので約0.3ミリという。

2021年に始まったJAXAの飛行士募集には4127人が応募。今年2月下旬には合格した数人程度が候補者として発表される見通し。JAXAによると、最終試験に残るのは男性8人と女性2人の計10人。10人は3チームに分かれ、自作の探査車を遠隔操作する課題に取り組んだという。防じん服を着て人工月面を歩いた上で、その際の状況を英語で説明する面接も行った。

新飛行士は米国主導の月探査アルテミス計画に参加し、上空の新基地や月面で活動することが期待されている。

JAXAの西川岳克技術領域主幹は試験について「チームワークやリーダーシップの能力を評価できた」としている。自身の体験や成果を世界に発信する表現力なども確認できたという。

(2023年1月21日付 山梨日日新聞 25面)